

2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2023年2月13日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL <https://www.advanex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2023年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	18,192	12.4	△138	—	327	△6.0	△39	—
2022年3月期第3四半期	16,181	16.6	221	—	348	116.3	△62	—

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 91百万円(△21.7%) 2022年3月期第3四半期 117百万円(△85.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	△9.69	—
2022年3月期第3四半期	△15.24	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	27,200	6,972	25.6
2022年3月期	25,208	6,922	27.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 6,963百万円 2022年3月期 6,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

連結業績予想に関する序文

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,600	13.2	100	△32.5	400	12.8	50	—	12.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	4,153,370株	2022年3月期	4,153,370株
② 期末自己株式数	2023年3月期3Q	45,477株	2022年3月期	44,925株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	4,108,153株	2022年3月期3Q	4,104,369株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、中国のゼロコロナ政策解除など国内外で行動制限が緩和されたものの、エネルギーコストや物流コストの上昇、インフレ加速、各国中央銀行の金利引き上げなど不透明な状況が続いています。当社の主要市場である自動車業界は、需要こそ回復しつつあるものの半導体不足が解消されず生産計画の下方修正が相次ぐなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比12.4%増の181億92百万円、営業損失は1億38百万円（前年同四半期は2億21百万円の利益）、経常利益は同6.0%減の3億27百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は39百万円（前年同四半期は62百万円の損失）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

半導体不足などにより自動車・OA機器向けが減少した一方、精密・産業機器向けが増加したことから売上高は前年同四半期比0.9%増の64億11百万円となりました。セグメント利益は材料費やエネルギーコスト高騰の影響などもあり同87.6%減の36百万円となりました。

② 米州

テネシー新工場の操業遅延があったものの、円安の影響もあり売上高は前年同四半期比4.3%増の20億87百万円となりました。セグメント損失は、テネシー新工場の操業遅延や材料費高騰の影響などもあり7億46百万円（前年同四半期は4億67百万円の損失）となりました。

③ 欧州

医療及び航空機向けが回復したことと円安の影響もあり、売上高は前年同四半期比26.6%増の19億2百万円となりました。セグメント利益は材料費やエネルギーコスト高騰などの収益圧迫要因もありましたが価格転嫁が進んだことから同179.5%増の94百万円となりました。

④ アジア

自動車、OA機器、医療向けが好調だったことと円安の影響もあり売上高は前年同四半期比23.2%増の77億90百万円、セグメント利益は同24.2%増の4億57百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ19億92百万円増加し、272億円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が16億4百万円増加し139億24百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が9億15百万円、受取手形及び売掛金が6億99百万円及び棚卸資産が1億91百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は3億88百万円増加し132億76百万円となりましたが、有形固定資産が4億35百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は202億28百万円となり、前連結会計年度末に比べ19億42百万円増加しました。主な理由は、借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が69億72百万円となり、前連結会計年度末に比べて49百万円増加しました。主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純損失39百万円の発生等により株主資本合計が81百万円減少しましたが、為替換算調整勘定が1億70百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は25.6%（前連結会計年度末は27.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました通期連結業績予想数値を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,175,062	4,090,429
受取手形、売掛金及び契約資産	4,360,590	5,059,869
商品及び製品	1,462,752	1,470,043
仕掛品	835,012	911,160
原材料及び貯蔵品	1,693,896	1,802,163
その他	824,332	622,802
貸倒引当金	△31,090	△31,860
流動資産合計	12,320,556	13,924,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,359,678	4,318,991
機械装置及び運搬具(純額)	4,252,836	4,501,128
土地	1,428,985	1,614,446
その他(純額)	1,914,852	1,957,140
有形固定資産合計	11,956,352	12,391,707
無形固定資産	107,426	124,663
投資その他の資産	823,983	759,805
固定資産合計	12,887,763	13,276,176
資産合計	25,208,319	27,200,784
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,660,399	3,257,753
短期借入金	1,442,302	4,444,310
1年内返済予定の長期借入金	3,124,881	3,394,386
リース債務	216,004	240,282
未払法人税等	160,618	122,939
賞与引当金	283,980	155,030
その他	1,470,269	1,385,090
流動負債合計	10,358,456	12,999,791
固定負債		
長期借入金	5,398,400	4,707,707
リース債務	1,012,725	995,356
繰延税金負債	251,339	258,286
資産除去債務	54,244	54,741
退職給付に係る負債	1,159,114	1,114,929
その他	51,700	97,730
固定負債合計	7,927,524	7,228,752
負債合計	18,285,981	20,228,544

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	5,064,348	4,983,440
自己株式	△77,765	△78,467
株主資本合計	6,236,582	6,154,972
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,720	△18,772
為替換算調整勘定	632,086	802,773
退職給付に係る調整累計額	19,354	24,673
その他の包括利益累計額合計	677,161	808,673
新株予約権	8,594	8,594
純資産合計	6,922,338	6,972,240
負債純資産合計	25,208,319	27,200,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)
売上高	16,181,792	18,192,633
売上原価	12,593,911	14,528,796
売上総利益	3,587,880	3,663,836
販売費及び一般管理費	3,366,640	3,802,623
営業利益又は営業損失(△)	221,240	△138,786
営業外収益		
受取利息	15,926	26,223
受取配当金	1	1
受取賃貸料	58,830	79,638
為替差益	187,972	285,957
補助金収入	4,696	37,110
債務免除益	-	188,409
その他	59,777	63,669
営業外収益合計	327,205	681,009
営業外費用		
支払利息	160,474	180,640
その他	39,851	34,511
営業外費用合計	200,326	215,151
経常利益	348,118	327,070
特別利益		
固定資産売却益	1,764	19,859
特別利益合計	1,764	19,859
特別損失		
固定資産売却損	818	1,796
固定資産処分損	9,371	2,404
訴訟関連損失	43,442	-
事業再編損	-	61,319
事業譲渡損	57,021	-
特別退職金	75,275	-
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	44,323
特別損失合計	185,931	109,843
税金等調整前四半期純利益	163,952	237,086
法人税、住民税及び事業税	213,278	248,173
法人税等調整額	13,238	28,736
法人税等合計	226,516	276,910
四半期純損失(△)	△62,564	△39,823
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△62,564	△39,823

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純損失(△)	△62,564	△39,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,531	△44,493
為替換算調整勘定	180,091	170,686
退職給付に係る調整額	4,165	5,319
その他の包括利益合計	179,725	131,512
四半期包括利益	117,161	91,688
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	117,161	91,688

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,351,905	2,002,055	1,503,144	6,324,686	16,181,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	821,952	6,125	34,285	107,713	970,076
計	7,173,858	2,008,180	1,537,430	6,432,400	17,151,869
セグメント利益又は セグメント損失(△)	292,608	△467,674	33,896	368,081	226,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	226,911
セグメント間取引消去	△5,671
四半期連結損益計算書の営業利益	221,240

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	6,411,821	2,087,363	1,902,840	7,790,607	18,192,633
セグメント間の内部売上高 又は振替高	870,275	—	232,481	155,618	1,258,376
計	7,282,097	2,087,363	2,135,322	7,946,226	19,451,009
セグメント利益又は セグメント損失(△)	36,386	△746,699	94,747	457,020	△158,545

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△158,545
セグメント間取引消去	19,758
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△138,786

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。